



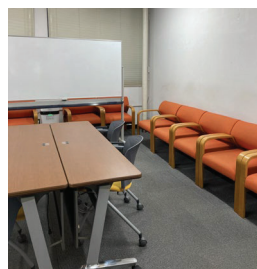
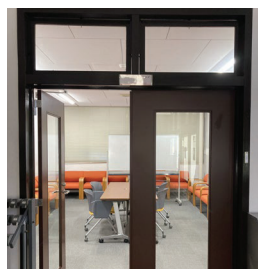
2025年2月に開室した「ライブラリー・コモンズ」は、グループや個人の学習室としてご好評いただき、連日多くのご予約で埋まっています。利用をご希望の際は、MyKULINEからお申込みをお願いいたします。1か月前から予約可能です。

MyKULINEにログイン ▶ 「利用者サービス」 ▶ 「施設予約」 ▶ 希望する図書館・日時を選択

The Library Commons is highly popular as a study space for both groups and individuals, with reservations filling up daily. Reservations are required can be done one month in advance through MyKULINE.

- ・ 予約は1グループにつき1日1件のみ、最大3時間まで
- ・ 次の予約がない場合に限り1回のみ延長利用可能
(次の予約は前の予約が終了してから)

Reservations are limited to one per group, up to 3 hours in length. Extensions are allowed once, only if there's no subsequent reservation. (New reservations can only be made after the previous one ends.)



ライブラリー・コモンズ (東)
ライブラリー・コモンズ (西)
平日 9:00-19:00
土曜 10:00-14:00

Library Commons (East and West)
Weekdays 9:00-19:00
Saturdays 10:00-14:00



京都大学 吉田南総合図書館
〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

Yoshida-South Library, Kyoto University
Yoshida-Nihonmatsu-cho, Sakyo-ku,
Kyoto, Japan
606-8501

Phone : 075-753-6525
E-mail : a30yslib@mail2.adm.Kyoto-u.ac.jp
Web : <https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/yoshidasouthlib/index.html>



No.16 2025.10.1
Kyoto university Academic Library Newsletter

K A L I N





開館日程表＜2025年度後期＞ / Calendar

吉田南総合図書館は、後期、下記の予定で開館いたします。なお、必要に応じ臨時に閉館する場合がございます。最新の開館日程については、当館のX（Twitter）やwebサイトにてご確認ください。

There might be a change in schedule. Please refer to our X（Twitter） or our website.

0 9:00-20:00 0 10:00-15:00 0 closed 0 定例休館(環on開室)/ closed

10						
S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

※10/26は臨時開館

12						
S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2						
S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

11						
S	M	T	W	T	F	S
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

1						
S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

3						
S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				



イベント予定 / Schedule

- 秋季入学者オリエンテーション 8月18日-9月29日
- Virtual Tour August 18th - September 29th
- 冬季休館 12月28日-1月4日
- Closed in winter December 28th - January 4th
- 後期講習会 おさらい講習会（仮） 1月頃を予定
- Guidance session Writing Reports and Papers: What You Need to Know is scheduled for January
- 春季休館 3月24日-4月5日
- Closed in spring March 24th - April 5th



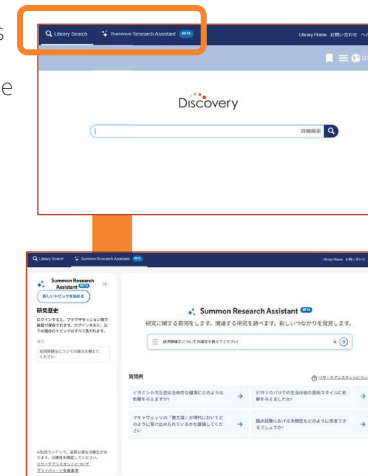
文献検索ツールのご案内 / Summon Research Assistant

様々な学術文献をまとめて検索できる便利なツール「Discovery」に、生成AIを利用し学術情報の手助けをしてくれる「Summon Research Assistant（BETA版）」が追加されました。ぜひご利用ください。

質問を入力すると、役立つ5つのドキュメントとその概要を提示してくれます。

Summon Research Assistant (BETA), a new tool that uses generative AI to help with academic information, joins "Discovery", our convenient platform for searching a wide range of academic literature.

Simply enter your question, and it will provide you with five useful documents and their summaries.



先輩インタビュー ぼくと未来と図書館と

留学 → 研究職志望へ

法学研究科 法政理論専攻（研究者養成コース） M3。「政治学専攻で、主な研究対象は日米の議会（公聴会）制度です。専門分野のコースワークを受けるために、2024年9月から2025年5月まで、米国ウィスコンシン大学マディソン校（政治学部）で交換留学を経験しました。」

留学までのスケジュールや手続きを教えてください

京都大学（国際・共通教育推進部 国際教育交流課）の交換留学の出願手続きに沿って準備を進めました。出発の約1年前（修士課程入学後）に、願書、英語（TOEFL iBT）のスコア、指導教員からの推薦状などを用意するとともに、出願要件を満たす奨学金に複数応募しました。

修士1年目は、留学先で学ぶ分野の文献を、専門用語の意味と先行研究の位置付けを意識しながら多読・精読するように心がけました。



普段はどんなふうに図書館を使っていますか？

主に文献収集のために利用しています。とりわけ、法学部図書室は外国政治についての古い文献まで豊富に揃っているため助かっています。物理的な図書館だけでなく、図書館機構の検索サービスや電子書籍もよく利用しています（特に、留学中は日本語文献の電子書籍が役立ちました）。また、研究室から場所を変えたいときに、自習や読書のために利用することもあります。

留学中の図書館の使い方は？（海外と日本との違いを知りたいです！）

主に自習目的で利用していました。静かに自習できるスペースから、学友たちと共同学習や雑談、ボードゲームを遊べるスペースまで様々な利用が可能でした。図書館内にカフェがあり、コーヒー休憩もしやすかったです。

他方で、日本の図書館には、閲覧室の静かさ、職員による丁寧なレファレンス・サービス、図書の予約システムの使いやすさなど、優れているところがあることに気づかされました。

研究職を目指したきっかけは？

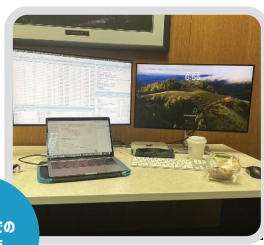
社会のルールが形成される仕組みに関心を抱き、法学部に進学しました。当初は弁護士や外交官といった進路も考えましたが、学部時代に受講した政治学系の講義やゼミでの研究を通じて、自分で問いを立て、それを掘り下げていくことに大きな魅力を感じました。

複雑な政治現象について、先行研究を整理し、その上に自らの分析と知見を重ねて発信していく研究職は、社会に貢献できるだけでなく、自分がこの世界に生きた証にもなるはず。そう考えたことが、研究の道を目指すきっかけとなりました。

後輩の皆さんへひとことお願いします

院進や留学は、それ自体がすぐに結果や成功として「見える化」されにくい一方で、コストとリスクは大きいです。しかし、今置かれた環境で実を結ぶのか、それとも新しい環境でこそ探究心が花開くのかは、踏み出してみないとわからないです。

もし機会に恵まれ、胸の内に意欲と好奇心が芽生えているのであれば、そうした巡り合わせをご縁と捉えて、一歩踏み出してみる価値はあり、どこかに理解者はいます。



大学図書館PCルームでの研究風景。モニター、コーヒー、ドーナツの組み合わせは至高でした。

先輩インタビュー ぼくと未来と図書館と

ワーキングホリデー → 企業就職へ

文学研究科のM3。「学部生のころは部活しかしていなかったため、大学院では何かしっかり勉強しようと、カナダにワーキングホリデーに行くことも含めて英語の学習に打ち込みました。2026年4月から出版社に勤務予定です。」

普段、どうやって図書館を使っていますか？

個人的には新書が好きなので、毎月定期的に図書館に入る新書の刊行をチェックして、面白そうなものを借りることが多いです。また、他の人が借り終わって本棚に返される前の本がラックに置かれているときは、そこにある本は面白い確率が高い気がするので重点的にチェックしています。

研究に必要な本については、日本語の専門書から外国の専門的な雑誌まで図書館で利用できることもあるので、かなり重宝しています。

ワーキングホリデーをしようと思ったきっかけは？

大学院に入る前の春休みに京大で国際会議の運営のアルバイトになんとなく参加した際に、自分が全く英語を話せないことに気がついたのと、修士課程ではなにか一つのことに打ち込みたかったのが重なり、英語を真剣に勉強しようと思うようになりました。

高校の後輩がカナダにワーキングホリデーに行っていて、話を聞いたことでワーキングホリデーという選択肢を知り、留学よりも自分にとっては現実的だったので、英語力を伸ばせるかもしれないと感じたことも大きな理由の一つでした。



出版社を希望した理由を教えてください！

高校生の時に読んだ新書が面白く、自分の知らないことを知ることに楽しさを知って、こういった本づくりに関わる仕事をしたいと思うようになりました。自分は浅く広く好奇心がある性格だと思っていたので、書き手というよりは様々な話題に触れて本や記事を作ることでできる編集者という仕事に魅力を感じました。新書に限らず本が好きなので、本を読む人が減っている中で、一冊でも多く面白い本や記事を作って読者に広めることを仕事にできればいいなと思っていました。

就活中、図書館をどのように活用しましたか？

webテスト対策の本を図書館で借りて勉強していました。テストの種類が多いので、図書館に対策本があって助かりました。また、毎月出る新しい新書の中で面白そうなものを借りて感想を書いて面接等で「最近読んだ面白い本は」という質問に備えていました。図書館に頻繁に通って、いろいろなジャンルの面白い本に触れる回数を増やすことで、自分の中でのいい本、作りたいのイメージを具体化することができたのも、ESや面接の対策になっていたように思います。

後輩の皆さんへひとことお願いします

留学やワーキングホリデーについては、そもそも選択肢をよく調べてみると、知らなかったけど自分にマッチするような選択肢が見つかるかもしれないので、経験者の話を聞いたりネットで調べたりすることが重要かなと思います。

出版社の就活については、自分のやりたい仕事を実際にされている方の話を聞くことがとても大事だと思います。なかなか見つからないし繋がりを作るのは簡単ではないですが就活において重要な要素だと感じます。また、本の面白いところだけでなく改善できることを考えてみたり、自分が作りたい本や漫画、記事を具体的に妄想したりすることも役にたつと思います。



カナダではコンビニよりあるティムホートンです。信じられないくらい甘い「ダブルダブル」で頼むのがオススメです。